

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年 1月●日

協議会名:	姫路市地域公共交通会議陸運分科会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>「姫路市総合交通計画(平成28年3月改定二版策定)」において、「魅力ある賑わいある都心と多核連携型都市構造の成形に向けた交通体系の構築」を基本理念に掲げ、①公共交通の利便性向上、②公共交通の利用環境改善、③参画と協働の推進の3つの柱に沿って施策推進を図っている。</p> <p>具体的な施策の一つとして、公共交通空白・不便地域に対し、地域の需要に応じた公共交通手段の導入を進めることとしている。</p> <p>【家島地域特徴と基本方針】</p> <p>離島のためバス・タクシー等の交通事業者の参入がなく、全くの公共交通空白地域である。また島内の移動は徒歩や二輪が大半を占めている。</p> <p>本地域においても高齢化や地理的要因のため、港から各集落までの公共交通導入を求める声が高まり、定期船発着場である旅客船ターミナルを起点とした地域内フィーダー系統としてコミュニティバス(市町村運営有償運送(交通空白輸送))を導入し、運行中である。</p> <p>地域と行政の協働で運行計画の立案・コミュニティバス運行を行っており、今後も地域と行政が連携し「地域の足」として継続的に運行を続けたい。</p>